

令和7年度第9回教育研究評議会議事要録

日時 令和8年1月20日(火) 14時30分から15時25分まで

場所 S-Port 3階大会議室

事務局棟5階大会議室 (Teams)

出席者 日詰、塩尻、金原、二又、大石、佐藤、大島、高倉、大橋、吉川、粟井、田中、上藤、鎌塚、延原、小西、遊橋、山本、松本、宮原、加藤、西村、江口、平井、水谷、原和彦、近藤、今泉、青木、間瀬、小林の各評議員
久保野工学部副学部長 (福田評議員の代理)

岡端教育学部附属学校園副統括長

欠席者 鈴木、福田の各評議員

陪席者 飯田、河島の各監事、原正和、峰野の各学長補佐

海老澤学長特別補佐

I 前回議事要録の承認

令和7年度第8回教育研究評議会議事要録について、原案どおり承認した。

II 審議事項

1. グローバル共創科学研究科（仮称）の設置について

塩尻委員及び平井委員から、グローバル共創科学研究科（仮称）の設置について、資料1により説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、小西委員から、大学院生の定員が純増した場合、配分される運営費交付金も増えるのかとの質問があり、近藤財務施設部長から、学生人数に応じた経費については予算配分がある一方、施設及び教員に関する予算については別途要求する必要があるとの説明があった。

2. 国立大学法人静岡大学と焼津市との人事交流に関する協定書の締結について

岡端教育学部附属学校園副統括長から、国立大学法人静岡大学と焼津市との人事交流に関する協定書の締結について、資料2により説明があり、審議の結果、これを承認した。

3. 附属学校園の在り方懇談会について

岡端教育学部附属学校園副統括長から、附属学校園の在り方懇談会について、資料3により説明があり、審議の結果、これを承認した。

Ⅲ 報告事項

1. 中期目標・中期計画の変更手続等について

二又委員から、中期目標・中期計画の変更手続等について、資料4により報告があった。

2. ソーシャルウェルネスの実現に向けたアンケート結果について

二又委員から、ソーシャルウェルネスの実現に向けたアンケート結果について、資料5により報告があった。

3. 令和7年度卒業・修了予定者の進路状況（11月30日現在）について

大島委員から、令和7年度卒業・修了予定者の進路状況（11月30日現在）について、資料6により報告があった。

なお、金原委員から、工学部の就職状況が不調である点について、分析結果があれば示してほしいとの要望があり、大橋委員から、学校推薦による就職が減少し、自由応募が増加していることから、学生は売手市場の状況にある。実際には就職自体はできているものの、学生側からの連絡がないケースが多いのではないかとの見解が示された。

4. 電子ジャーナル転換契約によるオープンアクセス出版について

小林委員から、電子ジャーナル転換契約によるオープンアクセス出版について、資料7により報告があった。

5. 令和7年度静岡大学地震防災WEBセミナーの実施結果について

佐藤委員から、令和7年度静岡大学地震防災WEBセミナーの実施結果について、資料8により報告があった。

なお、塩尻委員から、対象者について、非常勤教員も含まれるのかとの質問があり、併せて対象者に対して十分な周知を行うべきとの指摘があった。これに対し、佐藤委員から、セミナーの対象者及び周知した対象者を改めて確認し、遺漏のないよう取組みを継続していきたいとの発言があった。

また、飯田監事から、WEBセミナーの受講率について、数値目標が設定されているのか、また未受講者に対して後追いで受講を促す対応を行っているのかとの指摘があり、佐藤委員から、リマインドを行いながら受講を促している現状の説明があり、受講率は100%を目指すべきものであることから、今後さらに受講率が高まる対策を講じていきたいとの回答があった。

さらに、高倉委員から、学生の受講率向上について、他大学の好事例や現在検討していることがあれば教えてほしいとの質問があり、塩尻委員から、防災に関する

取組みや啓発、注意喚起は非常に重要であることから、指摘のあった点について、大学教育センター及び学生支援センターにおいて検討していきたいとの発言があった。

6. 教員採用等報告について

議長から、教員採用等について、資料9により報告があった。

7. 学長決裁により改正した規則等について

議長から、学長決裁により改正した規則等について、資料10により報告があった。

以 上